



# ゆずりはの森から

第148号

2015年7月18日発行

## 子どもは好きですか？

岩手県矢巾町の中学2年の生徒が自殺した事件が起きました。学校は変わらないと思います。講演でお話する時には、学校現場で子ども達にこのような対応をしてほしいと話すと、学校に文句を言わないで下さると言われる先生がいます。何が文句なのでしょうか。出来ないことを言つてゐるではありません。今回の事件のように、「子どもとの生活日記」を読む時間も先生には十分になかったという、先生を擁護する意見も出ています。確かに忙しいです。しかし、優先順位が違つと私は思います。いじめを示唆した段階ですぐ生徒に確認しなければいけません。生徒は「名前を教えましょうか」と書いてあります。先生は「上から田線ですね」と答えていました。



中学1年の時から、いじめられたと記録にあります。学校は楽校であつてほしいと私はゆずりは学園を作りました。いじめは本当にくならないのです。少なくするには出来ます。しかしひとつもないという

今回の矢巾町での教育委員会への報告は、クラスや子ども達の変化、行動すべてに、学校側は何も意識していないことがわかるように思います。

「報告がないからいじめは認識していない」と発表していた当初の見会から、次第にいじめの可能性は少なくなっているといつて行きました。

子ども達、生徒たちの命を預かつて、教えて行く現場で、子ども達、生徒たちの心を無視し、忙しいの言葉で動いているのを感じます。「子どもは好きですか？」の質問をもういちど、先生になる人に聞きたいたい。学問的に自分の教科だけの専門



## 外部講師を招いての課外授業

6月20日は外部からの講師、学生を招いて、授業をしていただきました。浜松医科大学の学生8人が1時間目の先生です。高校生46人の参加です。性教育は大切な授業ですので、毎年來ていた、だいています。

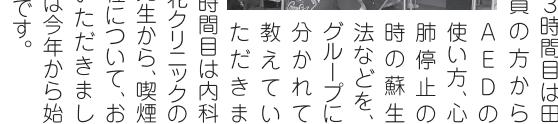
6月20日はは外部からの講師、学生を招いて、授業をしていただきました。浜松医科大学の学生8人が1時間目の先生です。高校生46人の参加です。性教育は大切な授業ですので、毎年來ていた、だいています。



浜松医科大学による保健学習



内科医の先生による喫煙の危険性



200万円で  
校舎が建ちます!  
フィリピン  
ゆずりは学園 ダバオ校  
建設ご協力金のお願い

自閉症・アスペルガー等の  
「発達障害」の子を持つ親の会

**ゆずりはの会** (164回)

○日時／9月11日(金) PM1:30~3:00  
○場所／ゆずりは学園  
(毎月第2金曜日 9/11・10/9・11/13)

**ゆずりは学園事務局**  
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3  
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761  
e-mail:kutsuna\_ike@yahoo.co.jp  
<http://www.yuzuriha-gakuen.com/>  
<http://ameblo.jp/yuzurihaschool/>  
<http://ameblo.jp/kutsuna-diary/>

このようにして外部からの講師を招いて、授業することは、その専門性の情報と授業することで、生徒たちにとっては、とても大切な課外授業になっています。

性だけでは、生徒達の前に立つのでは、十分ではありません。道徳の必要性がずっと言われています。「なぜ悪いことをしても反省しないで繰り返すのか？」学校では確かにがんばって授業して、生活指導していると思います。しかしやはりどんなにしても十分ではないのです。学校の先生だけではなく、家庭も地域ももう一度この国で、未来の子ども達の心のなかの訴えを受け止めてほしいと思います。



江南市講演  
(青少年健全育成)  
7/7(火)



NPO法人

ゆずりは学園

小學生

中學生

高學生

大學生

社會人